

第19期 まちづくり大学

# 地域コミュニティ活動について

## (自治会活動・円卓会議)



令和5年12月16日

政策推進部 公民連携・協働推進グループ

# はじめに… 公民連携・協働推進グループとは

## 主な担当業務

- 市民協働の推進
- 公民連携の推進（民間企業や大学等との連携）
- 地域コミュニティ活動の促進（自治会・地区会、円卓会議など）
- 市民公益活動の促進（市民活動支援センターの管理運営含む）
- 生涯学習の推進
- 文化・芸術の振興（文化会館の管理運営含む）
- 国際交流及び地域間交流
- NPO法人の設立の認証等



# 「協働」とは

## ■ 共同：同じ目的のため、みんなで一緒に物事を行うこと

☞ 同じ条件で使用する・関係するイメージ（共同作業、共同生活など）

## ■ 協同：同じ目的のため、力と心を合わせて物事を行うこと

☞ 協力するもの同士で目的や利益が一致していて、同じものに対して力を合わせるイメージ（協同組合など）

## ■ 協働：同じ目的のため、対等な関係で協力して物事を行うこと

☞ 違う立場の者がそれぞれの役割や特性を活かして協力するイメージ

# 「協働」とは

## 民間事業者のメリット

- ・ 社会貢献による企業イメージ向上
- ・ 商品の知名度向上
- ・ 研究成果の社会還元
- ・ 新たなビジネスモデルの構築

## 市・市民へのメリット

- ・ 市民サービスの向上
- ・ 地域活性化
- ・ 行政の財政的・人的負担の軽減
- ・ 新たな価値の創造

民間事業者

企業・大学など

市民  
市民団体



## 民間事業者の“強み”

- ・ 企業ブランド
- ・ 独自のノウハウやアイデア
- ・ 発信力や資金力
- ・ 社会の変化に対する反応の早さ

## 大阪狭山市の“強み”

- ・ 行政のもつ信頼・信用
- ・ 多岐にわたる業務範囲
- ・ 地域や市民との近さ
- ・ 他自治体とのつながり

大阪狭山市

# 「地域コミュニティ」とは

## コミュニティ

(生活地域、特定の目標、特定の趣味など) 何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団 (人々や団体)

## 地域コミュニティ

共通の生活地域 (通学地域、勤務地域を含む) の集団によるコミュニティのこと

総務省「コミュニティ研究会」第1回研究会参考資料より



## 大阪狭山市では・・・

➤ **自治会・地区会・住宅会** など

もっとも身近な地域活動

➤ **まちづくり円卓会議**

中学校区単位での取組み

# 自治会とは

## 地縁による団体

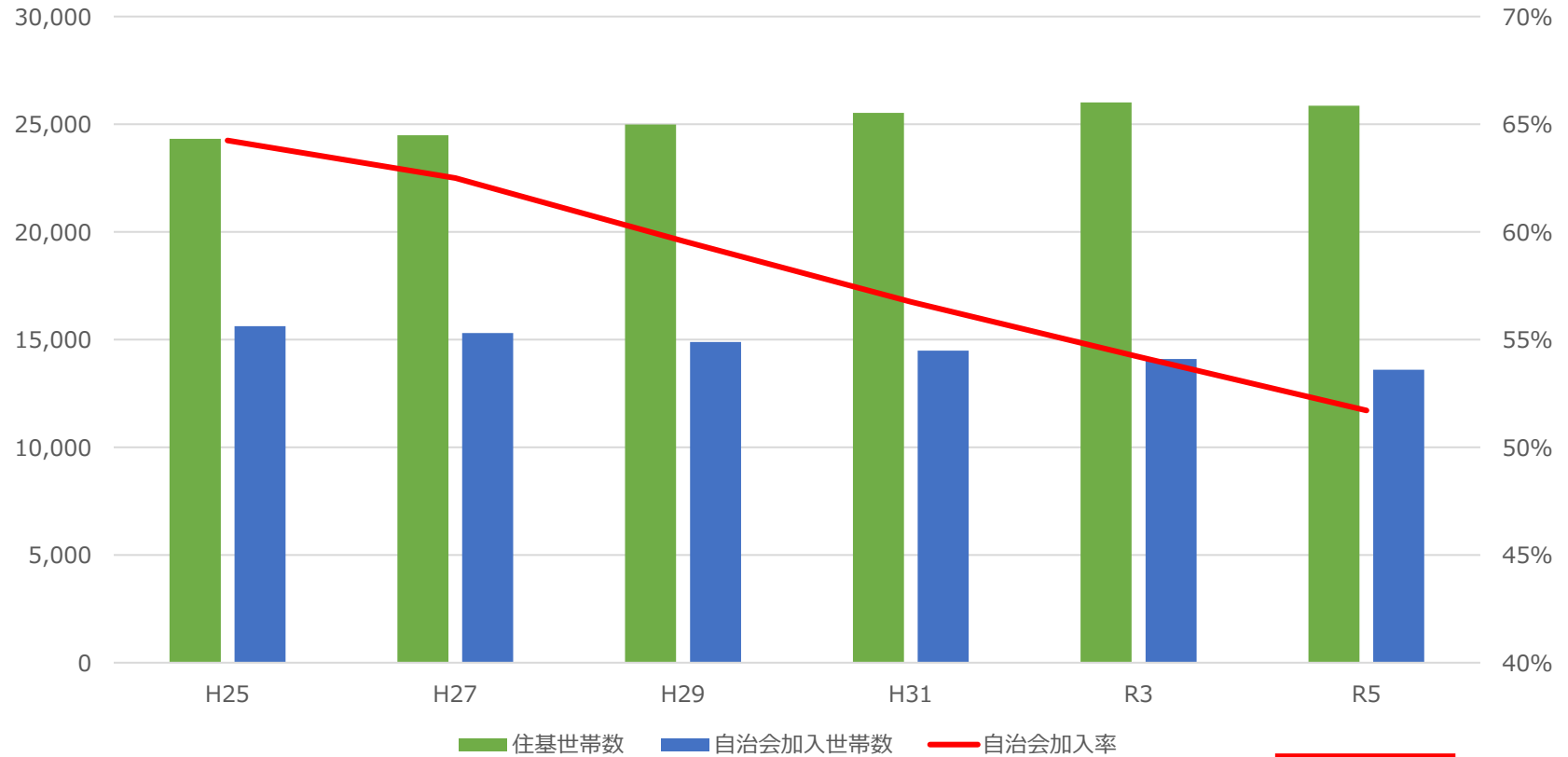
一定の区域に住所を有する者の地域的なつながり(地縁)によってつくられた団体。日ごろからの交流を通じて親睦を深め、お互いに話し合い、協力し合いながら、その地域で安心して暮らすことができるよう、自主的に活動している。

### <地縁活動の歴史的背景>

- 江戸時代の五人組制度、明治時代の区・区長制度など。
  - 昭和時代に市町村の補助的下部組織として「町内会」が組織された。戦後、町内会は解散となったが、住民自らがまちづくりを担う自治組織として全国的に自治会等が組織されていった。
- ➡ 現在の自治会・地区会などの地縁団体は、住民主体でつくられたもの。

# 大阪狭山市の自治会等の状況

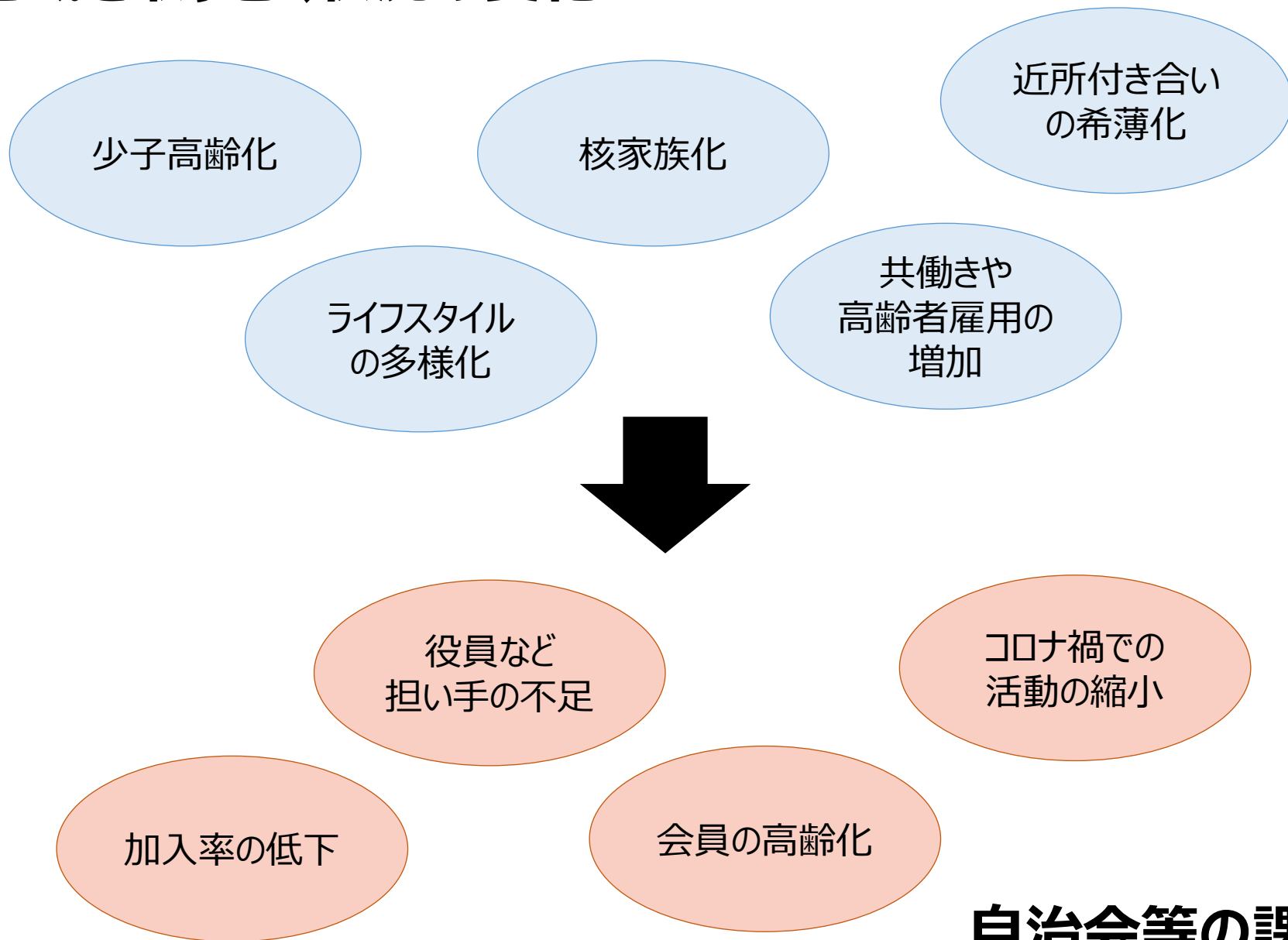
登録団体数： **87団体** (R5.4時点)



年度	H25	H27	H29	H31	R3	R5
住基世帯数	24,318	24,485	24,988	25,533	26,010	25,867
自治会等加入世帯数	15,623	15,304	14,888	14,491	14,100	13,607
自治会等加入率	64.24%	62.50%	59.58%	56.75%	54.21%	51.71%



# 地域を取り巻く状況の変化



自治会等の課題





# 自治会って、必要？

- 市役所でも、市民の方から「自治会に加入するメリットは？」「自治会をなくしたら何か困ることはあるの？」と聞かれることが増えています。
- 令和5年8月に、狭山高校と連携して授業を行い、テーマの1つとして「ご近所活動や地域活動は必要か」学生に考えてもらいました。
  - ▶ 自治会や地域コミュニティの必要性については、全グループが「必要」と回答

**意見： 犯罪や事故などを減らす効果がある。**

**お祭りなどの行事がないと人が離れてしまう。**

**近所に住む人がどんな人かを知っているからこそ、何かあったときに助け合える。知らなかったら逆に不審者を住人と勘違いしてしまう。**

**人とコミュニケーションをとることが健康に繋がる。**

**➡ みなさんは、どう考えますか？**



# 自治会等への市の主な支援制度

## 地域力活性化支援事業補助金（公民連携・協働推進グループ）

自治会で実施するイベントや防犯活動、地区集会所の維持管理費などに対する補助金制度

## 地区集会所建設等補助金（公民連携・協働推進グループ）

地区集会所の新設・改修などに対する補助金制度

## 自主防災組織等防災活動支援事業補助金（危機管理室）

自主防災組織などが、防災用資機材の購入や活動に要した費用に対する補助金制度

## 街頭防犯カメラ設置事業補助金（危機管理室）

自主的に街頭防犯カメラを設置する自治会及び事業者に対する補助金制度

## 有価物回収奨励金（生活環境グループ）

古紙等（古新聞、古雑誌、段ボール、古布）の集団回収を行っている登録団体に対して、回収した重さに応じて奨励金を交付

# 大阪狭山市自治会地区会連合会

- 市内の自治会・地区会がお互いの交流と連帯感を深めるとともに、さまざまな問題について話し合い、住み良いまちづくりを進めることを目的として活動している団体。
- 市内の自治会等のうち48団体が加入。

## 自治会地区会連合会ホームページ「さやれん」

- 自治会活動の認知度向上等を目的として、令和5年12月にオープン。
- 自治会活動の情報発信や、連合会加盟自治会会員向けにクーポン事業を実施中。



<https://sayama-jichi.jp/>

大阪狭山市自治会地区会連合会

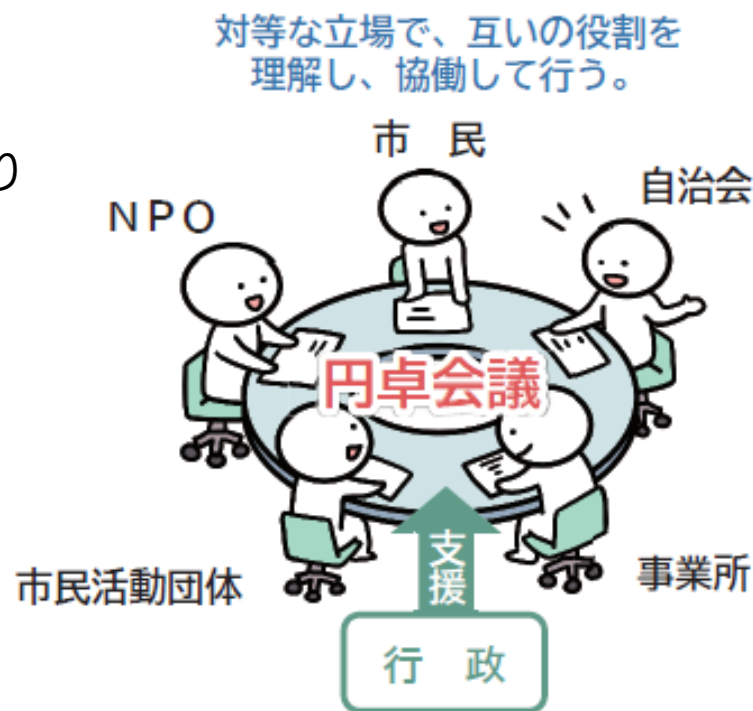
さやれん

# まちづくり円卓会議とは

- 市民、自治会等、市民活動団体、NPO、民間事業者など、**地域で暮らし活動する多様な主体が協働し、まちづくりについて話し合い、実行する場**として創設。
- 活動の単位は**中学校区**。（南中学校区、第三中学校区、狭山中学校区）
- 市は、円卓会議の自主性及び自立性を尊重するとともに、その運営を支援するための必要な施策を講じる。（財政支援、情報提供、関係機関との調整、会議場所の提供など）

## 円卓会議設置の目的

- 市民がまちづくりに関わる市民自治へのきっかけづくり
  - 地域のニーズに合った事業提案
  - 地域内コミュニティの醸成や地域内で活動する各種団体の連携促進
- ex. 地縁型コミュニティとテーマ型コミュニティの融合・連携



# 制度創設の背景

## 地方分権型社会への対応

- 平成12年（2000年）地方分権一括法施行
- 平成19年（2007年）地方分権改革推進法施行
  - …地方に対する規制緩和や、国から都道府県、都道府県から市町村へ財源や事務権限の移譲が進められていった。



**全国的に各市町村の中でも地域内分権が模索されるように**  
**地域のことは 地域で考え 地域で実行**

- 平成20年（2008年）7月 「新しいまちづくり制度」説明会の開催
  - …その後地域の有志による設立準備会が各中学校区で作られ、各円卓会議が設立された。
- 平成25年（2013年）4月 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」施行

# 各円卓会議の状況

名称	NPO法人 南中学校区円卓会議	第三中学校区 まちづくり円卓会議	狭山中学校区 まちづくり円卓会議
設 立	平成21年2月11日 ※平成25年10月16日に NPO法人化	平成21年11月8日	平成22年9月20日
構成員数 (令和5年度)	正会員 39 団体会員 12	68	150
代表者呼称	理事長	代表	委員長
決議機関	総会・理事会	総会・幹事会	総会・運営委員会
対象校区内 世帯数	約8,200世帯	約8,500世帯	約9,500世帯

## ◎円卓会議はなぜ中学校区？

- ① 小学校区では地域人口に大きな差がある
- ② 複数の小学校区にまたがる自治会がある
- ③ 防災防犯などの活動は広域で実施することが有効
- ④ まちづくりのアイデアや人材を集めるスケールメリット

# 各円卓会議の活動

## NPO法人 南中学校区円卓会議

スローガン：『 **みんなで なかよく みらいをつくる** 』

### < 主な活動 >

#### 地域コミュニティ事業

円卓ニュースの発行  
HPやブログの運用

#### コミュニティカフェ事業

交流の場「サロンみらい」

#### 地域コミュニティ交流事業

陶器山元気ウォーキング

#### 防犯・防災事業

地域防犯パトロール  
避難所開設訓練

#### 環境事業

花いっぱい運動  
三津屋川の清掃

#### 健康に関する事業

元気クラブ

#### 子どもの健全育成事業

わくわくフェスティバル参加

# 各円卓会議の活動

## NPO法人 南中学校区円卓会議





# 各円卓会議の活動

## NPO法人 南中学校区円卓会議



陶器山元気ウォーキング



# 各円卓会議の活動

## NPO法人 南中学校区円卓会議



親子工作教室



# 各円卓会議の活動

## 第三中学校区まちづくり円卓会議

スローガン：『 住んで楽しい 住んでみたい 住んでよかった 』

### < 主な活動 >

#### 企画チーム

フラワーガーデン  
グラウンドゴルフ大会

#### 広報チーム

円卓通信の発行  
公式LINEの運用

#### 防災チーム

研修や避難訓練

#### 魅力再発見チーム

三中円卓マップの作成  
魅力再発見ウォーキング

#### 花いっぱい運動チーム

花いっぱい運動  
子どもの絵画展開催

夏まつり

三津屋川の清掃

# 各円卓会議の活動

## 第三中学校区まちづくり円卓会議



# 各円卓会議の活動

## 第三中学校区まちづくり円卓会議



# 各円卓会議の活動

## 狭山中学校区まちづくり円卓会議

スローガン：『 **さあ や**っていこう **まちづくり** 』

### < 主な活動 >

#### 環境部会

清掃活動  
啓発看板の制作・設置等

#### 福祉教育部会

学びに行こ会・福祉研修会  
教育セミナー

#### 情報部会

円卓会議ニュースの発行  
SNSでの情報発信

#### 市民交流部会

さやりんピック

#### 全体事業

さやりんフェスティバル 等

# 各円卓会議の活動

## 狭山中学校区まちづくり円卓会議



# 各円卓会議の活動

## 狭山中学校区まちづくり円卓会議



さやりんピック

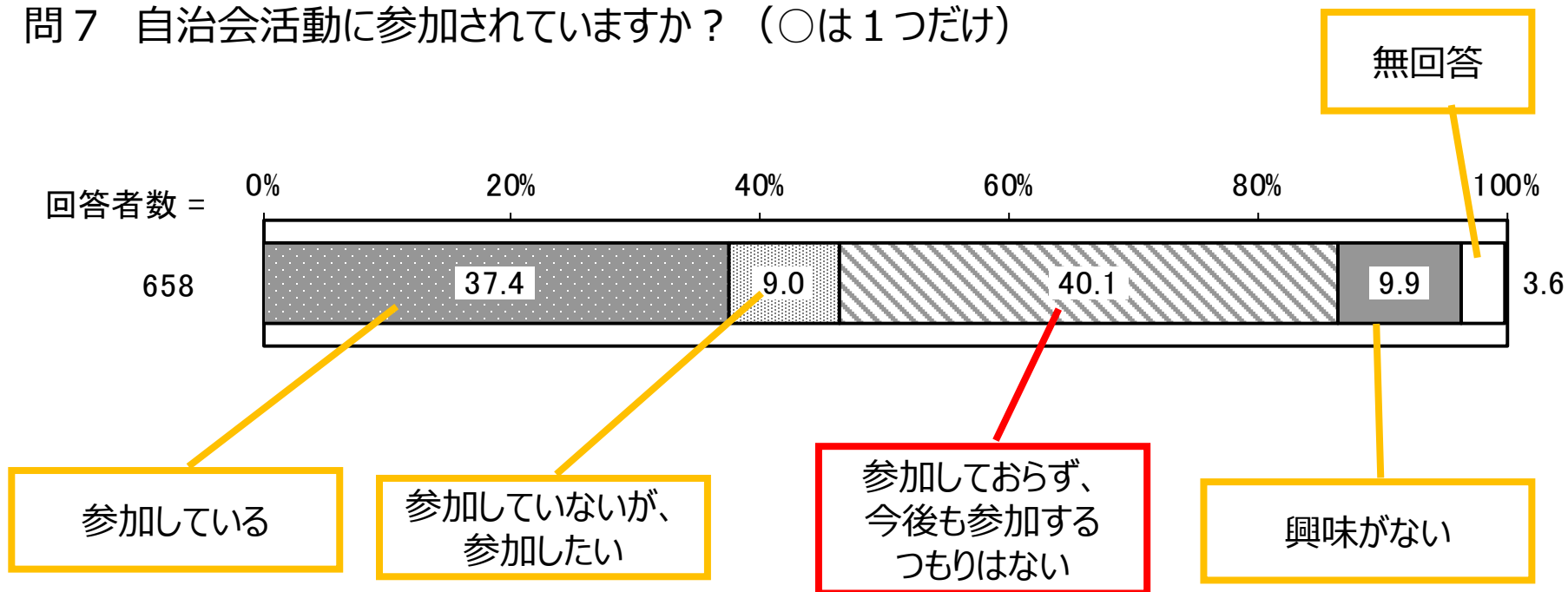




# 市民アンケート結果抜粋

「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」が平成25年4月に施行され10年となることから、令和4年度に市民アンケートを実施

問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）

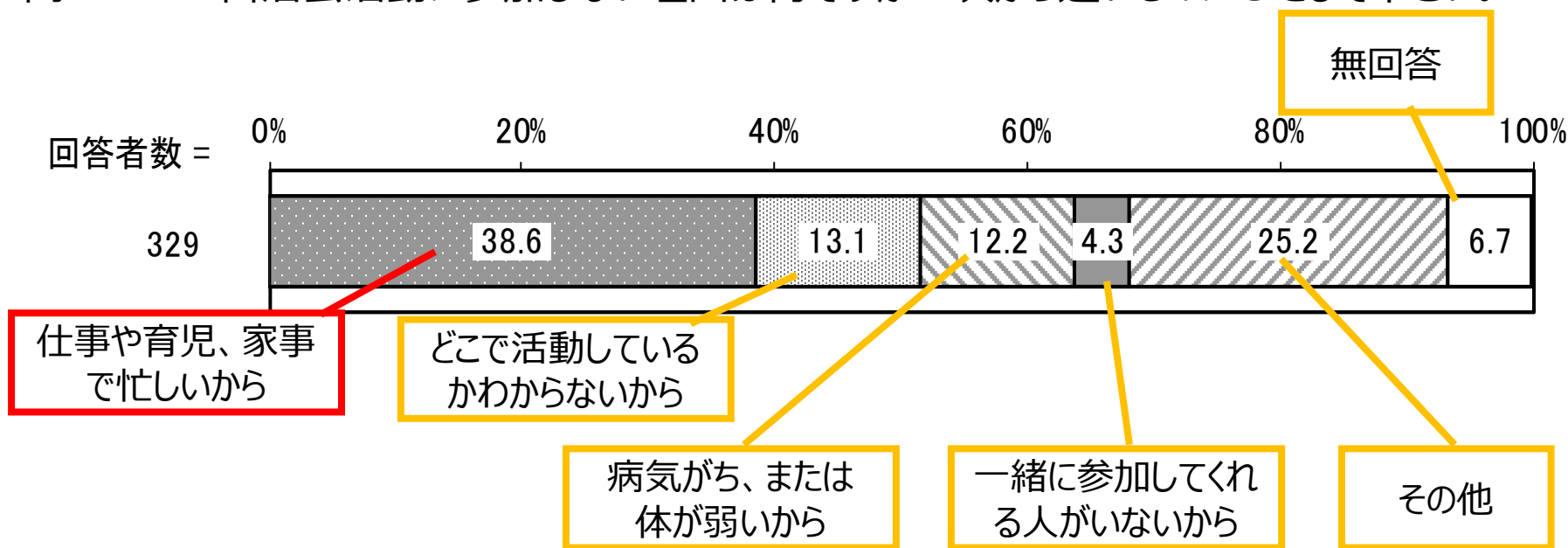


- ・最も多いのが「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」40.1%
- ・次いで「参加している」が37.4%。

# 市民アンケート結果抜粋

問7で「3. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。

問7-1 自治会活動に参加しない理由は何ですか？次から近いものに○をして下さい。

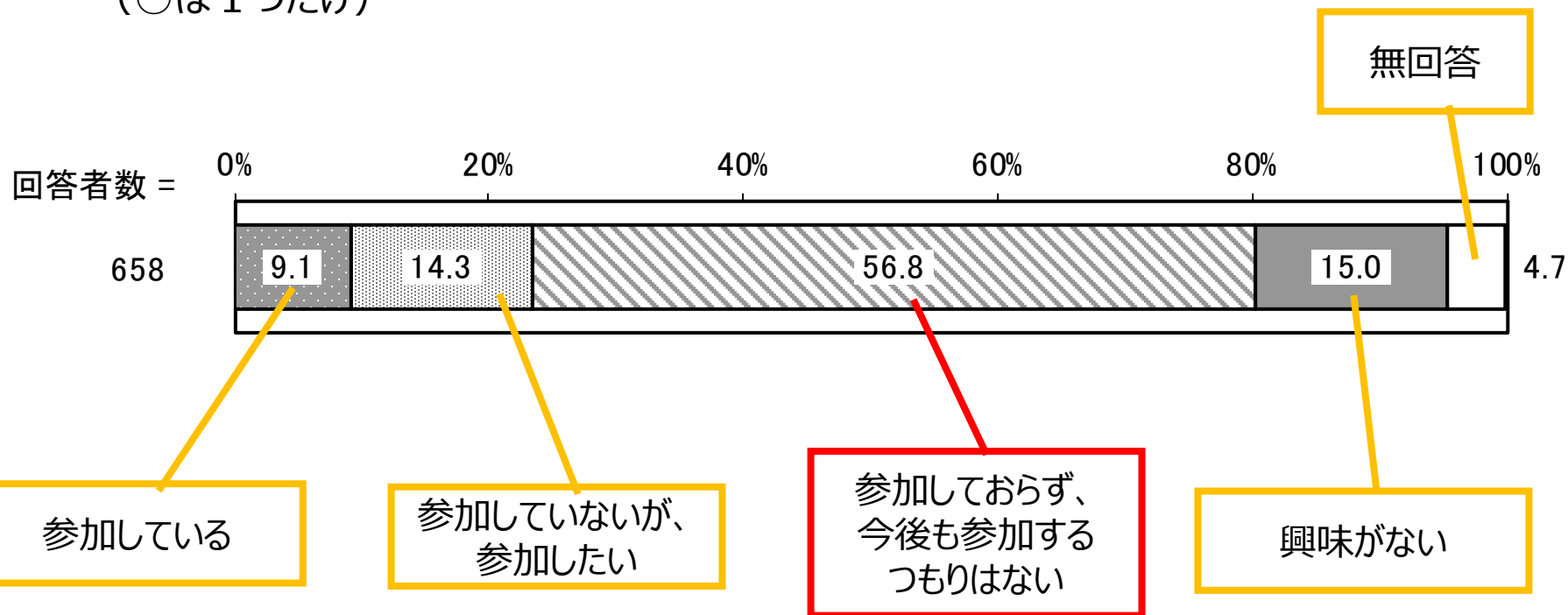


- ・最も多いのが「仕事や育児、家事で忙しいから」38.6%
- ・次いで「どこで活動しているかわからないから」13.1%、「病気がち、または体が弱いから」12.2%

# 市民アンケート結果抜粋

問8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？

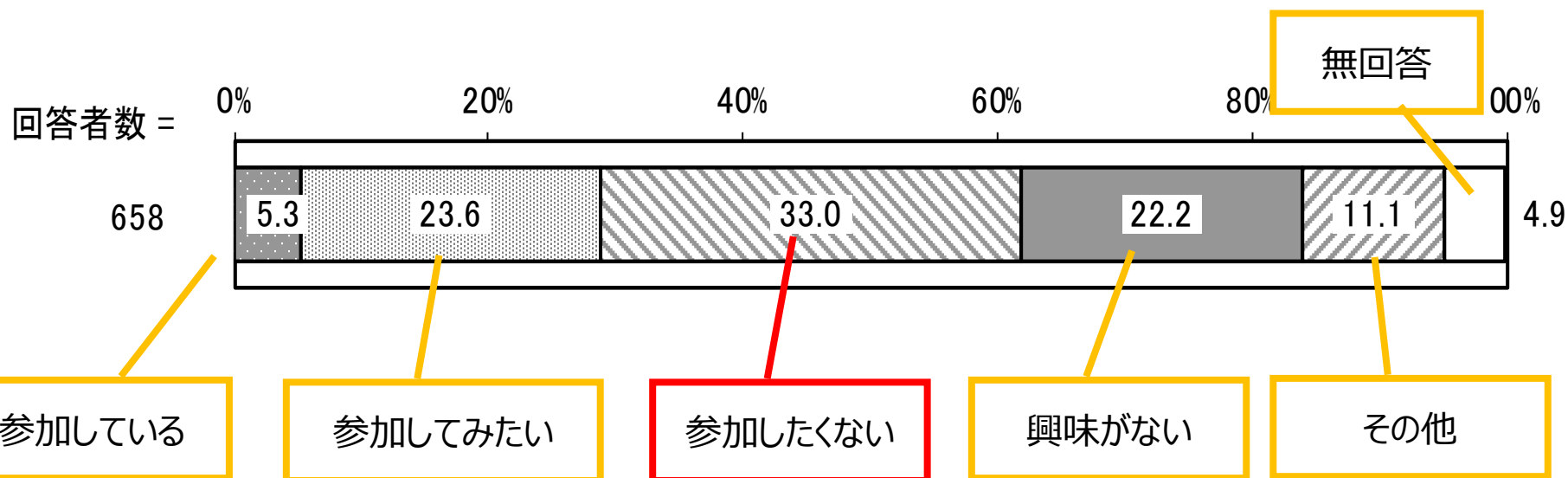
(○は1つだけ)



- ・最も多いのが「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」56.8%
- ・次いで「興味がない」15.0%、「参加していないが、参加したい」が14.3%

# 市民アンケート結果抜粋

問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？（○は1つだけ）

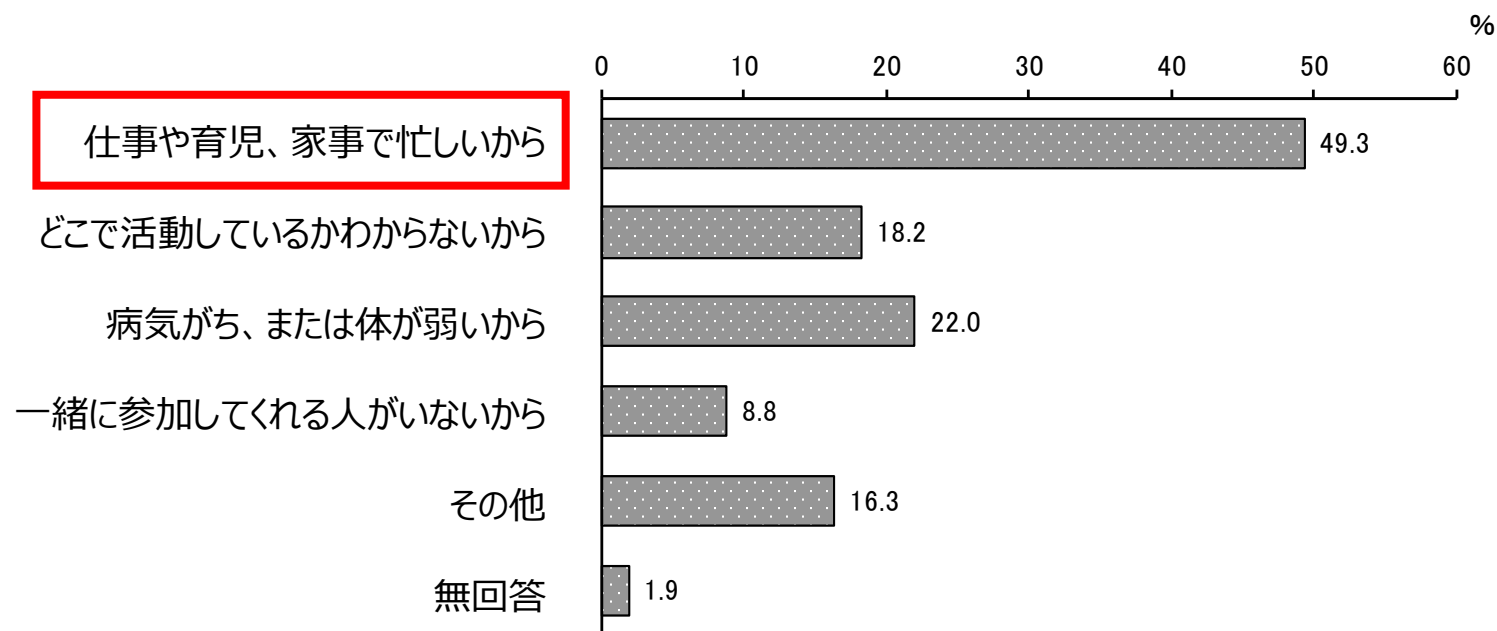


- ・最も多いのが「参加したくない」33.0%
- ・次いで「参加してみたい」23.6%、「興味がない」の割合が22.2%

# 市民アンケート結果抜粋

問9で「3. 参加したくない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。

問9-1 参加したくない・興味がない理由は何ですか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。（○はいくつでも）



- ・最も多いのが「仕事や育児、家事で忙しいから」49.3%
- ・次いで「病気がち、または体が弱いから」22.0%、  
「どこで活動しているかわからないから」18.2%

# 最後に

- 社会状況の変化、ライフスタイルや価値観の多様化などによって、地域活動や市民活動に参加する余裕がない、関心がないという人が増えている。
  - その一方で、「（今は参加していないが）参加してみたい」という人もいる。
  - 新型コロナウイルス感染拡大は、自分が住む身近な地域に目を向ける契機にもなった。
- 
- これまでの市民の皆さんの活動によって、地域の人と人とのつながりは確実に広がっている。
  - 地域活動は、自分のため・みんなのため・地域（まち）のため ➡ **三方よし**
  - こうしてできたつながりが、大阪狭山市の地域力・魅力になっている。



「参加してみたい」人が気軽に活動に参加できる機会や、「参加したくない」人が「少しなら手伝ってもいいかな」と思えるような機会など、**地域に一步踏み出すきっかけづくり**が必要